

単元名 地域調査の手法—京都府伏見区を例に—

配当時間 7時間

単元の目標 (1) 身近な地域の自然環境、人口、産業、交通、文化、伝統などの基礎的、基本的な知識を身に付けるとともに、身近な地域に関する様々な資料を収集し、地域的特色についての情報を適切に読み取ったり、読み取った情報を地図やグラフなどを用いて適切にまとめたりすることができる。

(2) 身近な地域の調査を行うテーマ設定の視点をもとに、地域的特色を多面的、多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。

(3) 身近な地域の調査活動や調査結果のまとめ、発表に意欲的に取り組み、身近な地域の地域的特色や課題について追究しようとする。

標準的な展開例

10220301_001

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 など |
|--|--|
| <p>1 身近な地域の様子について、小学校の学習内容を振り返り、単元の学習計画を立てる。</p> <p>○小学校の学習内容を振り返る。</p> <p>★身近な地域には、どのような特色があるか、改めて見直そう。</p> <p>○身近な地域の特色をつかむ。</p> <p>・空中写真 ・地形図</p> <p>○地域の特色をつかむための五つの視点を調べる。</p> <p>○単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>●身近な地域で疑問に思ったことや調べてみたいことは、どのように調査していけば解決できるのだろう。</p> <p>2 地形図のしくみと約束について調べる。</p> <p>★地形図のしくみや活用する方法を調べよう。</p> <p>○地形図のしくみと約束について調べる。</p> <p>○デジタル地図の特色について調べる。</p> <p>○地形図を身近な地域の調査に活用する方法を調べる。</p> <p>・昔の地図では田が広がっていた地域に、新しい地図では住宅地が広がっており、その中心部には学校がある。</p> <p>3 調査テーマを決めて、調査計画を立てる。</p> <p>★調査テーマを決めてどのように調べるかを考え、調査計画を立てよう。</p> <p>○調べたいことをまとめ、調査テーマを決定する。</p> <p>○調査計画を立てる。</p> <p>4～5 調査を進める。</p> <p>★調査を進めて様々な資料を集め、身近な地域の特色を見いだそう。</p> <p>6～7 調査結果を基に考察してまとめ、発表する。</p> <p>★調査結果を分析・考察し、地域の特色をまとめよう。</p> <p>○調査結果を基に、考察してまとめる。</p> <p>○調査結果のまとめを発表する。</p> | <p>・教P. 118～P. 121</p> <p>・都道府県や市町村など、身近な地域の学習について振り返らせる。</p> <p>・身近な地域の自然環境や人々の生活の様子に着目させる。(場所)</p> <p>・どの視点を使って学習しているのか、注意しながら学習を進めていくことを押さえる。</p> <p>・教P. 122～P. 125</p> <p>・方位、縮尺、等高線、断面図、地図記号など地形図の約束について押さえる。</p> <p>【評】新旧の地形図を比較したり、土地利用図を作ったりして地域の変化を読み取る活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教P. 126～P. 127</p> <p>・地域の特色をつかむための五つの視点を基に関連図を作り、調査テーマを決定させる。</p> <p>・教P. 128～P. 133</p> <p>・直接現地で観察や調査をする、間接的に文献や統計で調査するなど、調査方法のバリエーションに着目させる。</p> <p>・教P. 134～P. 137</p> <p>・地域の特色の原因や背景、そこに含まれている課題に着目させる。(地域)</p> <p>【評】調査結果のもつ傾向を分析し、その要因や原因を考え発表する活動を通して、「思考・判断・表現」・「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> |

【 備 考 】